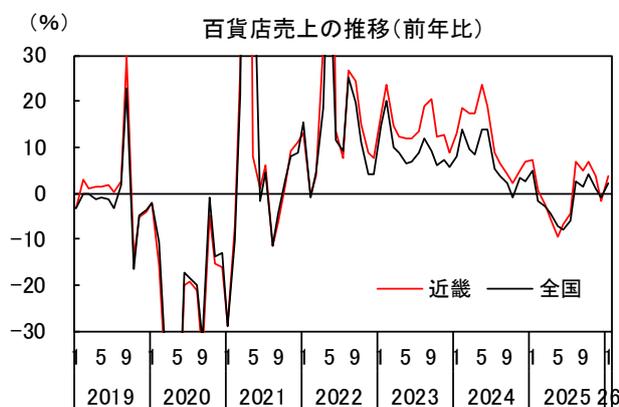
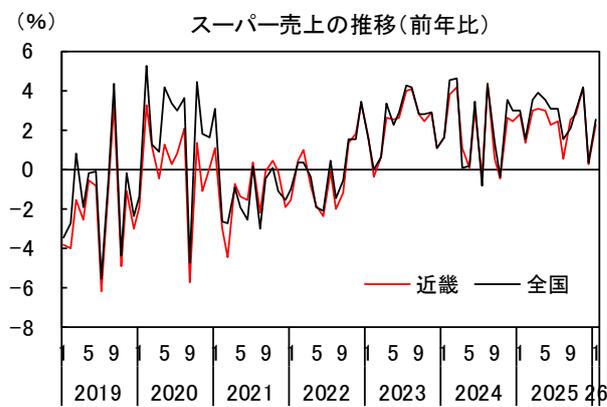


関西の景気トピックス【消費関連（26年1月）】

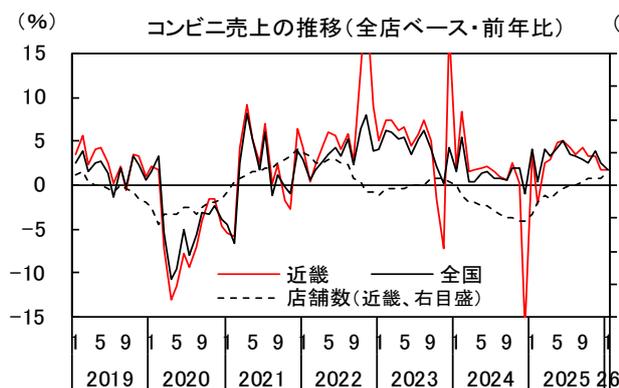
- 26年1月の百貨店売上（経済産業省）は前年比プラス3.9%と2か月ぶりの増加となった。中国の渡航自粛によるインバウンド消費の減少は続いているものの、初売の好調や株高効果などで国内客の購入が増えたとみられる。スーパー売上も1月は前年比プラス2.4%と前年は上回っており、食料品を中心とした値上げの影響で売上が伸びたとみられる。
- コンビニ売上（経済産業省）は、1月は全店ベースで前年比プラス1.8%と11か月連続の増加となった。インバウンド消費の鈍化などもあり、売上の増加率もやや縮小する形となっている。
- 住宅着工戸数（国土交通省）の1月は、前年比マイナス2.0%と4か月ぶりの減少となった（3か月移動平均）。直近の3か月は前年を上回っていたが、1月は再び前年割れとなった。
- 各業界で売上が前年を上回る動きはみられるものの、インバウンド消費の鈍化が続く中、国内売上の継続的な増加は見込みにくい。ここへきて原油相場の高騰も始まったことで、先行きの不透明感がなお一層強まる形となっている。



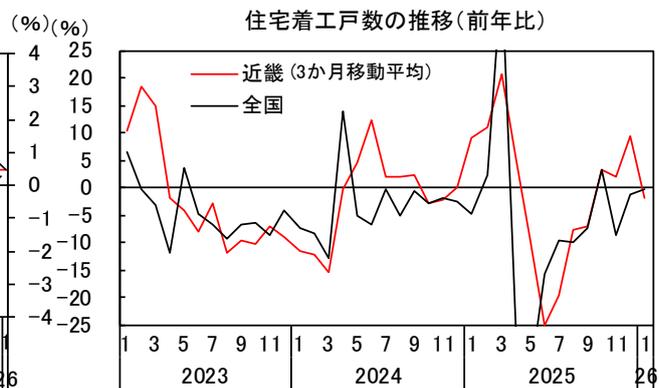
(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)国土交通省「建築着工統計」